

支え愛マスクを町内小学校へ

町では、新型コロナ対策としていただいた寄付を活用し、約50名の町内ボランティアの協力をいただき、手作り布マスク約800枚を作成しました。

このマスクは、地域毎のイメージによるデザインでロゴプリントされた布地を使用し、カラフルでかわいらしいものになっており、町内の小学校に届けられました。



高山ミニバス少年団・高山中バスケットボール部 保護者が手作りマスク寄贈

マスク品薄状態が続く中、高山ミニバスケット少年団と、高山中学校男女バスケットボール部の保護者が「新型コロナウイルス感染拡大防止にお役立てください」と、4月9日に手作りマスクを町に寄贈されました。

このマスクは、社会福祉協議会を通じて地域で見守り活動を行っている民生児童委員に届けられました。保護者の皆さま、ありがとうございました。



まちの話題

TOWN TOPIX

令和2年度高山准看護学校 入学式

4月10日、町文化センターにて高山准看護学校入学式が行われました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小した形での開催となりましたが、集まった保護者や関係者が新入生15人の入学を祝いました。

新入生の川野芳さんは「看護師の専門知識を学び、患者さんともよい関係を築けるような看護師を目指したい。」と意気込みを語りました。



養護老人ホーム国見園移管式

令和2年3月31日に福祉会館で行われた養護老人ホーム国見園移管式で、永野町長と移管先である社会福祉協議会の松元会長両名による引継書の署名をしました。

移管に向けこれまで約1年半の事務引継ぎや合同養護を重ね、国見園の財産・事業の引継ぎが完了したことにより、令和2年4月から肝付町社会福祉協議会が運営を行います。

